

経営比較分析表（平成29年度決算）

福島県猪苗代町 猪苗代町立猪苗代病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	5	-	訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
14,641	4,361	第1種該当	15：1	

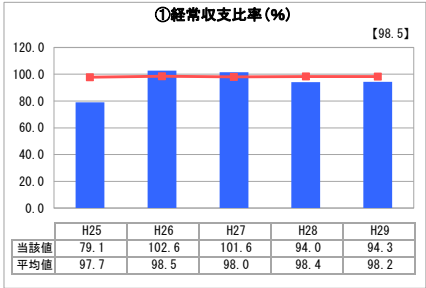
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

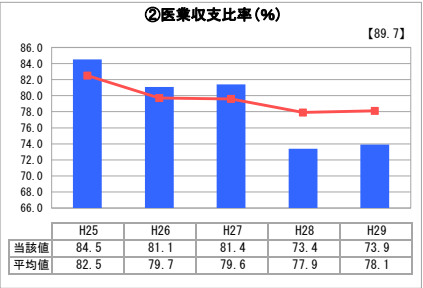
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
65	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	65
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
58	-	58

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

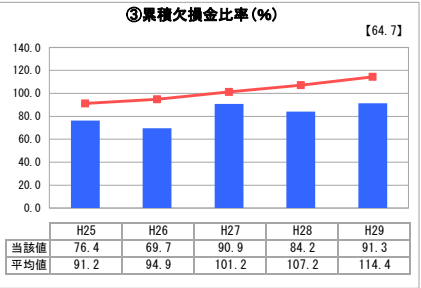
1. 経営の健全性・効率性



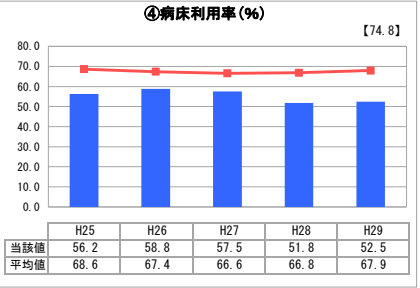
「経常損益」



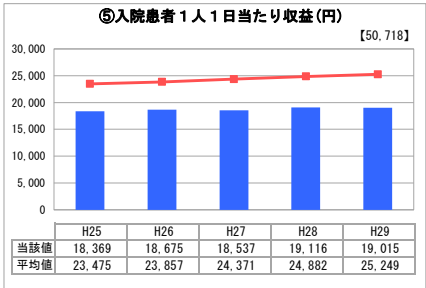
「医業損益」



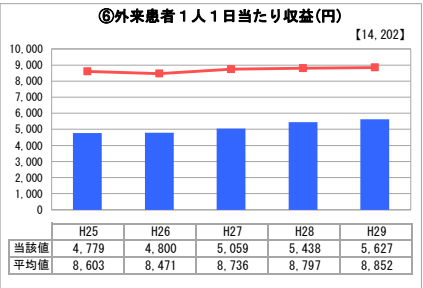
「累積欠損」



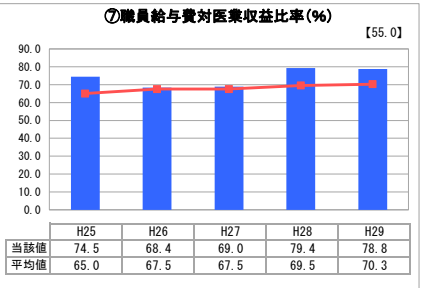
「施設の効率性」



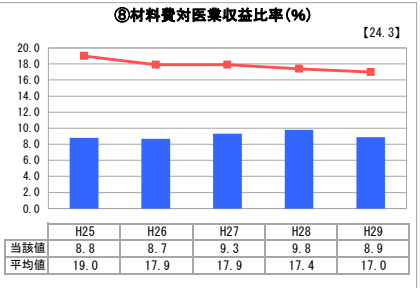
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

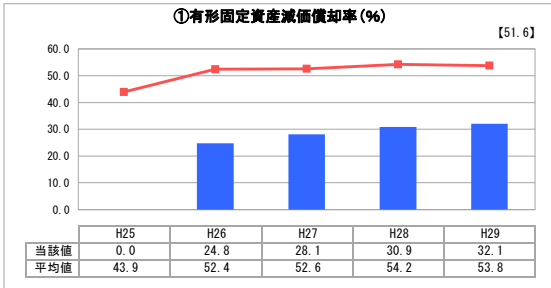


「費用の効率性①」

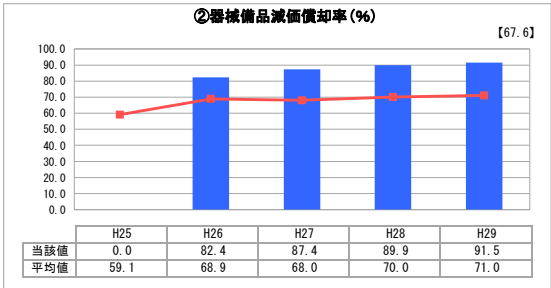


「費用の効率性②」

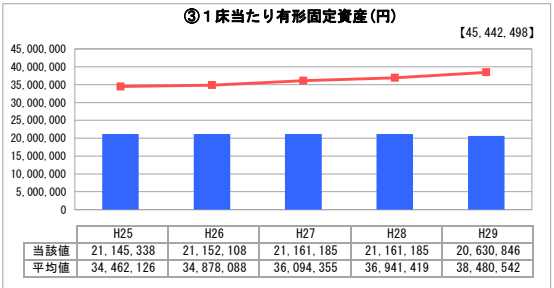
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

本病院は猪苗代町唯一の病院であり、町民及び多くの観光客にとって不可欠なものになっている。また猪苗代町は、高齢化や生活習慣病の増加等で地域住民の医療需要が増大していることや、豪雪地帯であること、また町の面積が広いことから地域的にも絶対的に必要な医療機関となっている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①患者数の減少による経常収益の減少により、26年・27年は100%を上回っていたが28年と29年は100%を下回っている。②医業収益の若干の上昇により、医業収支比率が増加したものの、類似病院平均値を下回っている。③累積欠損金が発生しているものの、類似病院平均値は下回っている。④患者数の減少により、類似病院平均値を毎年下回っており29年についても同じく下回った。⑤・⑥入院収益・外来収益ともに減少したものの、入院患者・外来患者についても減少しているため、全体としては増加傾向にある。⑦医業収益の若干の増加により、職員給与費対医業収益比率は減少した。⑧材料費対医業収支比率は類似病院平均値と比較して毎年下回っており29年についても同じく下回った。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、病院の建物が建築から約10年と比較的新しいため、法定耐用年数に達するには時間があり、類似病院平均値と比較しても平均を下回っている。②機械備品減価償却率は、約90%となり、法定耐用年数を超えているものがほとんどである。また類似病院平均値と比較しても老朽化が進んでいる。③1床あたりの有形固定資産は類似病院平均値と比較して毎年下回っており、29年についても同じく下回っている。

全体総括

経営の健全性・効率性については、町内の人口減少に伴う患者数の減少等があり、医業収益や病床利用率が減少している。老朽化については、有形固定資産に関しては、病院の建物自体が新しく、類似病院平均値と比較しても低いため更新について検討する必要性は低いと思われる。機械備品については、法定耐用年数を超えているものがほとんどであり、更新等について計画的に検討する必要があると思われる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。